

復興への願いを込めた
「福島プロジェクトマッピング2016 はるか ～ 白河 花かがり～」
4月15日・16日開催！
世界初!?!の演出にも注目

東日本大震災からの福島・東北の復興を願い、福島県会津若松市の鶴ヶ城にて3年連続で開催されてきた「プロジェクトマッピング はるか」。今年は「白河 花かがり」と題し、福島県白河市で、桜の時期にあたる4月15日・16日に開催いたします。

NHK連続テレビ小説「あまちゃん」の楽曲を手がけた大友良英さん・S a c h i k o Mさんの新曲に乗せて、NHK大河ドラマ「龍馬伝」のタイトルで有名な紫舟さんの書や咲き乱れる桜の映像が、建設中の白河文化交流館「コミネス」に映しだされます。建設現場の幕や柱など、奥行きのあるスクリーンへの投影で、右からと左からでは見え方が違う、より立体的なプロジェクトマッピングをお楽しみいただけます。世界初の試みとも言われる建設現場へのプロジェクトマッピングを、どうぞお見逃しなく！（完全予約制、入場無料）

イベント概要

日 時：2015年4月15日（金）・16日（土）※完全予約制

①18:20～ ②19:00～ ③19:40～ ④20:20～

料 金：無料

会 場：白河文化交流館「コミネス」

（JR白河駅から徒歩3分）

内 容：第1部 「新生相馬盆唄」

第2部 「大信こだま太鼓」

第3部 「プロジェクトマッピング

白河 花かがり」

備 考：駐車場のご用意はごくわずかしかございません

ので、公共交通機関のご利用をお勧めします。

ご予約方法

インターネット予約（先着順）

⇒特設サイト

[\(http://www.fukushimasakura.jp/2016/\)](http://www.fukushimasakura.jp/2016/) から

ご予約ください。



作家紹介



美術：紫舟

書家／アーティスト 文字に内包される表現や感情を書で引き出し、書を伝統から解放し、書＝平面という常識を超えた立体の書の彫刻は、唯一無二。NHK大河ドラマ「龍馬伝」の題字では、第5回手島右卿賞、G1サミット新世代リーダーアワードを受賞。作品は世界でも高い評価を受け、2015年ミラノ国際博覧会 日本館エントランス空間でアートを担当。その日本館は展示デザイン賞金賞を受賞。ルーブル美術館 Carrousel Du Louvre での2014年フランス国民美術協会展では最高位金賞受賞。2015年同展は、日本人現存作家初の快挙となる横山大観氏に続く主賓招待作家としてエントランスホール200㎡を飾るなど、世界へ日本の文化を発信している。現在NHK BSプレミアム/Eテレ美術番組「美の壺」題字を担当。



音楽：大友良英

1959年横浜市生まれ。10代を福島市で過ごす。常に複数のバンドを率い、多くのグループやプロジェクトに参加。多種多様な作品をつくり続け、その活動範囲は世界中に及ぶ。また、映画音楽作家として、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」など、中国映画や日本映画、テレビドラマなど数多くの映像作品に関わり高い評価を得ている。震災後は福島でプロジェクトFUKUSHIMA!を立ち上げ、また2017年の札幌国際芸術祭の芸術監督就任など、音楽におさまらない活動でも注目される。第55回日本レコード大賞作曲賞、芸術選奨文部科学大臣賞など受賞多数。



音楽：Sachiko M

テスト用の信号音(サインウェーブ)を使った電子楽器を演奏し世界的に活躍する即興音楽家、作曲家。2003年アルスエレクトロニカ・ゴールドメダル賞受賞。サウンドインスタレーション作品発表、写真集出版など活動が多岐にわたる中、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」劇中歌の作曲に参加。大友良英と共に手がけた「潮騒のメモリー」で第55回日本レコード大賞作曲賞受賞。2014年 国際交流基金 Asia Center, ENSEMBLES ASIAプロジェクト“Asian Sounds Research”プロジェクトディレクターに就任。



アニメーション：橋本大佑

1977年郡山市生まれ。P. I. C. S. management 所属。グラフィックやイラストレーション・アニメーション・ディレクションまでをトータルに行う映像作家/アニメーション作家。CM・Music Video・On Air Promotion 等の企画/演出、CGアニメーションを主に活動中。文化庁メディア芸術祭、スカパー！アワード 2011 station-ID 賞など受賞多数。



クリエイティブ ディレクター：山田崇臣（NHKエンタープライズ）

アートディレクター/デザイナー/プロデューサー 日本大学芸術学部卒業後、NHKへ入局。連続テレビ小説「おひさま」、大河ドラマ「八重の桜」や「第58回NHK紅白歌合戦」「SONGS」など、ステージセットやCGデザインを中心としたテレビ美術に携わる。2014年、NHKエンタープライズに出向し、現在はイベントや映像事業の企画開発を担当している。伊藤熹朔賞や映像技術賞などを受賞。



制作統括：菅山明美（NHKエンタープライズ）

プロジェクト・デザイナー テレビディレクター/プロデューサーとして、番組の企画・制作に携わる。その後、企画の範囲を映像・イベントにまで広げ、プロジェクションマッピングなどのメガ映像を活かした地域活性化事業を手がけている。2004年 児童文化福祉賞奨励賞、2009年 環境省政策提言準優秀賞、2013年 科学技術映像祭優秀賞、グッドデザイン賞、2015年VFX-JAPANアワード優秀賞などを受賞。

実施体制

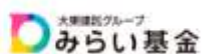
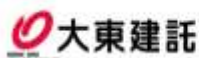
主催：fukushimaさくらプロジェクト

共催：白河市

後援：福島県

協力：ふくしまDC県南推進協議会／白河商工会議所／白河商工会議所青年部／白河商工会議所女性会／
(公財)白河観光物産協会／JR東日本 仙台支社

協賛：大東建託株式会社／大東建託グループ みらい基金／NTTファイナンス株式会社／株式会社コーセー／
日本経済新聞社／福島民報社／株式会社LIXIL／株式会社サン・クロレラ／日本ゼトック株式会社／
株式会社ネクスウェイ



制作協力：NHKエンタープライズ

問合せ先

「fukushima さくらプロジェクト」事務局 吉井、猪俣（イーソリューションズ株式会社内）

e-mail： info@fukushimasakura.jp

TEL : 03-5733-5033

参考

「fukushimaさくらプロジェクト」とは

「fukushimaさくらプロジェクト」は、東日本大震災からの復興を願い、福島や東北、さらには全国を応援することを目的としたプロジェクトです。

復興のシンボルとして寄贈された新種の八重桜「はるか」の苗木を福島県内で育て、全国への植樹活動を行うことで、この桜に込められたメッセージを全国に広めています。

また、福島県を活性化させるイベント「福島プロジェクトマップ はるか」の企画・運営やその広報活動を通じ、復興機運の風化防止に努めています。

新種の八重桜「はるか」とは

「はるか」は、森林総合研究所が開発し、福島県に贈られた新しい桜です。福島・東北を応援するシンボルとして、はるかかなたの未来にまで広がって欲しいという想いを込めて、大河ドラマ「八重の桜」の主演であった綾瀬はるかさんにより、命名されました。